

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年1月14日

【四半期会計期間】 第31期第3四半期(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

【会社名】 株式会社ツヴァイ

【英訳名】 ZWEI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 縣 厚 伸

【本店の所在の場所】 東京都中央区銀座五丁目9番8号

【電話番号】 03-6858-6544

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 福 島 徹

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座五丁目9番8号

【電話番号】 03-6858-6544

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 福 島 徹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第3四半期 連結累計期間	第31期 第3四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
売上高 (千円)	3,110,996	2,826,695	4,124,126
経常利益 (千円)	157,666	110,254	321,574
四半期(当期)純利益 (千円)	73,816	85,074	148,120
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	227,130	115,715	211,773
純資産額 (千円)	4,101,313	4,086,920	4,085,962
総資産額 (千円)	5,049,806	5,051,246	4,873,323
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	18.93	21.72	37.97
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	18.69	21.50	37.49
自己資本比率 (%)	80.7	80.4	83.3

回次	第30期 第3四半期 連結会計期間	第31期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日	自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( ) (円)	0.63	1.83

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策から企業収益は改善が見られ緩やかに回復しつつあるものの、景気は足踏み状態が続き、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は、11月6日に創立30周年を迎えることができました。この30年で社会環境もお客さまの今まで以上にきめの細かなサービスを求めるニーズや当社への期待も大きく変化しております。「幸せな出会いを創造し続ける企業」として、「出会いの品質」を高める取り組みを強化するとともに、お客さまのニーズに確実に応えていくために、「ツヴァイ事業の強化」「クラブチャティオ、ウエディング事業の拡大」等の重点取り組みを実施してまいりました。

しかしながら、その取り組みの業績への反映には時間がかかっており、当第3四半期連結累計期間における売上高は、28億26百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業利益66百万円（前年同四半期比34.7%減）、経常利益1億10百万円（前年同四半期比30.1%減）となりました。一方、海外事業の貸倒損失が確定したことによる税金費用が軽減された結果、四半期純利益は85百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。主な事業別の概況は次のとおりであります。

#### (ツヴァイ事業)

ツヴァイ事業につきましては、当累計期間は資料請求者数の減少により新規入会者数は当初計画を下回りました。しかしながら、付加価値を高めた商品「アクティブコース」の販売に伴いツヴァイ事業の入会単価は、前年下半期58.9千円から当第3四半期連結累計期間は73.6千円と14.7千円増となりました。また、出会いの機会を高めるために、全社をあげて会員さまの出会いを強化する取り組みを実施し、成婚退会者数は前年同期比104.3%となりました。

出店につきましては、契約満了により9月20日にツヴァイレイクタウンを閉店し、12月5日に同ショッピングセンター内に移転し新装オープンいたしました。イオンウエディング併設型の複合店舗であり、従来の相談デスクに加え、当社初となるフォトウエディング用写真スタジオを設置しました。また、11月29日にツヴァイ岡山を「イオンモール岡山」に移転し営業を開始しました。これにより、商業施設店舗は56店舗中13店舗となりました。

11月1日より「A E O N サプライズ! 10weeks」と連動させた企画「90日間で出会えなかったら登録料を全額返金キャンペーン」を実施し、結婚相手紹介サービスに関心はあっても、なかなか一歩を踏み出せない独身者に、安心してご入会いただける機会を提供しております。

媒体につきましては、日本民間放送連盟の放送基準の改正により11月1日にT V C Mが解禁され、業界初となる地上波でのT V C Mの放映を中部エリアで開始しました。また、交通広告や映像媒体を積極的に展開し、認知度の向上とブランディングに取り組みました。

(チャティオ事業)

パーティ・イベント事業であるクラブチャティオ事業につきましては、高単価・多人数参加型の特別企画パーティの開催数を大幅に増加させ、事業の拡大に取り組みました。一方、通常パーティの参加者数を増加させるために、新たなパーティ企画の導入を図りリピート率の改善に取り組んでおります。

自治体との取り組みでは、埼玉県の子少化対策推進事業として「ライフデザイン支援事業」を受託し、9月より、大宮、春日部、所沢の県内3会場で講座を開催しました。また、11月1日～2日に、地域再生プロジェクトとして特定非営利活動法人JENと共同で、石巻市牡鹿半島において婚活イベント「浜こん2014」を開催、11月29日～30日には、NPO法人秋田移住定住総合支援センターとの連携で、秋田県在住の公務員等の男性と県外の独身女性が交流する「AKITA婚ツアー」を開催し、多くのカップルが誕生しました。

(ウエディング事業)

ウエディング事業につきましては、9月4日～8日、イオンレイクタウンで1,000着以上のドレスを揃えたウエディングドレス展示即売会を実施しました。また、ウエディングフェアでは、模擬挙式やファッションショー、メイクアップショー等を実施し、多くのメディアに取り上げられ、ツヴァイのウエディング事業の認知度向上につながりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加し50億51百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少し、23億10百万円となりました。主な要因は、現金及び預金94百万円と関係会社預け金2億50百万円の減少と流動資産その他55百万円の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加し、27億40百万円となりました。主な要因は、新システム構築や店舗移転に伴う設備投資等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加し、9億64百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億54百万円増加し、5億18百万円となりました。主な要因は、買掛金75百万円、前受金52百万円、賞与引当金38百万円の増加等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、4億45百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債30百万円の増加等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ大きな変動はなく、40億86百万円となりました。主な増減は、利益剰余金減少による株主資本23百万円の減少とその他有価証券評価差額金26百万円の増加によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,400,000
計	14,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,922,200	3,922,200	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	3,922,200	3,922,200		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月1日～ 平成26年11月30日 (注1)	4,200	3,922,200	940	449,472	940	455,464

(注) 1 . 新株予約権の権利行使による増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,916,500	39,165	
単元未満株式	普通株式 1,300		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,918,000		
総株主の議決権		39,165	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社の保有の自己株式98株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成26年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ツヴァイ	東京都中央区銀座五丁目 9番8号	200		200	0.00
計		200		200	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年9月1日から平成26年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	309,485	215,355
売掛金	479,249	487,753
前払費用	61,726	72,086
関係会社預け金	1 1,600,000	1 1,350,000
繰延税金資産	11,686	28,473
金銭の信託	2 90,000	2 90,000
その他	14,286	69,405
貸倒引当金	1,506	2,340
<b>流動資産合計</b>	<b>2,564,927</b>	<b>2,310,734</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	301,388	329,449
無形固定資産		
ソフトウェア	116,596	76,689
ソフトウェア仮勘定	192,541	603,061
その他	3,650	3,650
無形固定資産合計	312,787	683,400
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,062,775	1,099,865
敷金	373,695	362,788
保険積立金	257,579	262,825
その他	170	2,183
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,694,220</b>	<b>1,727,662</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,308,396</b>	<b>2,740,512</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,873,323</b>	<b>5,051,246</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	61,777	137,111
未払金	50,757	59,526
未払費用	97,549	115,290
未払法人税等	53,737	-
未払消費税等	9,540	47,752
前受金	44,641	97,611
賞与引当金	13,978	52,313
役員業績報酬引当金	2,243	1,715
設備関係未払金	45	1,379
事業整理損失引当金	24,000	770
その他	5,613	5,159
流動負債合計	363,883	518,630
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	60,832	60,493
繰延税金負債	275,750	306,293
資産除去債務	70,635	71,157
長期未払金	16,260	7,750
固定負債合計	423,477	445,694
負債合計	787,361	964,325
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	445,347	449,472
資本剰余金	451,341	455,464
利益剰余金	2,525,542	2,493,445
自己株式	344	362
株主資本合計	3,421,885	3,398,020
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	635,426	661,637
為替換算調整勘定	3,595	2,035
その他の包括利益累計額合計	639,022	663,673
新株予約権	25,055	19,236
少数株主持分	-	5,990
純資産合計	4,085,962	4,086,920
負債純資産合計	4,873,323	5,051,246

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,110,996	2,826,695
売上原価	1,496,828	1,264,109
売上総利益	1,614,168	1,562,585
販売費及び一般管理費	1,511,721	1,495,689
営業利益	102,446	66,895
営業外収益		
受取利息	3,284	2,251
受取配当金	24,881	26,204
為替差益	25,628	14,611
その他	2,078	731
営業外収益合計	55,874	43,799
営業外費用	654	441
経常利益	157,666	110,254
特別損失		
固定資産除却損	3,827	3,304
賃貸借契約解約損	2,636	-
事務所移転費用	4,310	-
特別損失合計	10,775	3,304
税金等調整前四半期純利益	146,890	106,950
法人税、住民税及び事業税	94,159	11,383
法人税等調整額	17,397	2,877
法人税等合計	76,762	14,260
少数株主損益調整前四半期純利益	70,128	92,689
少数株主利益又は少数株主損失( )	3,687	7,614
四半期純利益	73,816	85,074

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,128	92,689
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	179,273	26,211
為替換算調整勘定	22,272	3,184
その他の包括利益合計	157,001	23,026
四半期包括利益	227,130	115,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,176	109,725
少数株主に係る四半期包括利益	15,046	5,990

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 関係会社預け金は、イオン株式会社との金銭消費寄託契約に基づく寄託運用預け金等であります。
- 2 サービス未提供部分の前受金を保全するため、金融機関に金銭の信託をしているものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
減価償却費	118,404千円	124,459千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	116,991	30	平成25年2月28日	平成25年4月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年4月18日 取締役会	普通株式	117,171	30	平成26年2月28日	平成26年5月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円93銭	21円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	73,816	85,074
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	73,816	85,074
普通株式の期中平均株式数(株)	3,899,723	3,916,291
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円69銭	21円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	50,629	39,230
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年1月13日

株式会社ツヴァイ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 樋口 義行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツヴァイの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年9月1日から平成26年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツヴァイ及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。